

平成28年(2016年)

第二種電気工事士 筆記試験受験セミナー

- 電気工事士の資格に挑戦してみませんか!
- 2日間の集中講義で筆記試験の要点を徹底指導。奮ってご参加下さい。
- **初めて工事士受験を試みる方にも十分理解いただけるよう学習の要点を整理し、出題傾向に基づいた的確な受験指導をいたします。**



- 開催日 2016年(平成28年) **4月16日(土)、17日(日)**
講義時間/両日共 9時30分~17時00分
- 開催場所 **オーム社 ゼミルーム** (東京都千代田区神田錦町3-1 オームビル地下1階)
- 講習内容

第1日目: 4月16日(土) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1. 電気に関する基礎理論 ■ 2. 配電理論と配線設計 ■ 3. 電気機器、照明器具 ■ 4. 配線器具、材料、工具 ■ 5. 電気工事の施工方法 	第2日目: 4月17日(日) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1. 電気工事の施工方法(続き) ■ 2. 一般用電気工作物の検査方法 ■ 3. 一般用電気工作物の保安に関する法令 ■ 4. 鑑別 ■ 5. 配線図
---	--

*より詳しい講義項目は次ページをご参照ください。
この内容を踏まえてお申込み下さい。
- 使用テキスト 『**2016年版第二種電気工事士テキスト**』
定価 1,512円(税込) → **割引価格 1,200円** (税込・送料無料)
* 2016年3月発売
* 当講習の受講者に限り、テキスト料金を割引価格にて販売させていただきます。
- 受講料 **24,000円** (税込)
* 受講料にはテキスト代・昼食代は含まれません。
* 当日欠席の場合、返金はいたしかねます。
- 定員 46名 (定員になり次第締め切ります)



昨年の同講習の受講生の声 (アンケートより抜粋)



写真は2015年度の同講習にて撮影

● 過去の出題パターンから要点がまとめられて、たいへん分かりやすかった。● 独学でどうやって勉強すればよいか分らなかったが、要点をまとめて教えていただき、助かりました。● 半年間独学で勉強していましたが、先生の丁寧な説明で理解不足だった所がわかるようになりました。● 鑑別問題等、わかりやすく丁寧に説明してもらえた。● すべてを覚えるのではなく、重要なポイントだけを押えていればと判っていたが、それがどの部分かはっきりした。● 過去問の傾向の分析から、「出題予想」を立ててくださり、大変に役に立った。● 実際の試験で使える「裏技」も聞けて、良かった。● 60点の合格点を取るための最短コースの勉強方法を教えて頂き、今後の勉強のペースがつかめた。● ひとりではなかなかヤル気がおきずに困っていたが、思い切って講習に参加して、同じ目標を持った人たちと、学習することが出来て、とてもヤル気ができました。● 合格点をとるだけなら無理して覚える必要のない難しい問題がなんなのかが的確にわかり、非常に参考になりました。参加して大満足しています。



■ 本セミナーに関するお問い合わせ先 ■

株式会社オーム社 セミナー業務室 www.ohmsha.co.jp/seminar/

TEL 03-3233-0680 / FAX 03-3291-1322 / メール: seminar@ohmsha.co.jp

第二種電気工事士筆記試験 受験セミナー／上期用 重点講習内容

【1日目】		平成28年4月16日(土)
講義項目		学習の要点
1. 電気に関する基礎理論		
(1)電気の基礎的事項	・導体の抵抗と抵抗率	・電線の長さや断面積を変えたときの抵抗値の計算
(2)抵抗回路の計算		・抵抗の直並列回路の合成抵抗、電圧、電流の計算
(3)電流による発熱と電力、電力量		・電力と電力量の定義、電流による発熱量の計算
(4)交流回路計算の基礎知識	・最大値、実効値、平均値の関係	・誘導性リアクタンスと容量性リアクタンス
(5)単相交流の電力と力率		・電圧と電流の位相
(6)三相交流の基本事項	・皮相電力、有効電力、無効電力、力率の計算	
		・三相結線の種類とその電圧と電流
		・電力、電力量の計算
2. 配電理論と配線設計		
(1)設計の基本事項	・単相2線式回路の電圧、電流、電圧降下の計算	
	・単相3線式回路の電圧、電流、電圧降下の計算	
	・単相3線式回路の中性線断線時の計算	
(2)引込線などにおける施設の決まり	・引込線取付高さ、屋側配線の決まり	・開閉器や過電流遮断器の施設と省略条件
(3)幹線設計の基礎	・屋内幹線の設計(幹線の太さ、許容電流の決定)	・過電流遮断器の設置と省略
(4)分岐回路設計		・分岐回路の種類や電線の太さと接続できるコンセント容量の組合せ
3. 電気機器、照明器具		
(1)変圧器の基礎理論	・巻数比と電圧、電流の計算	・三相結線の種類、V結線の利用率
(2)誘導電動機の基礎理論	・同期速度と滑り	・三相誘導電動機のY-△始動法と逆転法
(3)照明器具	・蛍光灯点灯回路の役割(安定器、点灯管、コンデンサ)	
	・水銀灯、ナトリウムランプなどの特性	
4. 配線器具、材料、工具		
(1)配線器具の基本的な特性	・3路スイッチ回路、4路スイッチ回路	
	・過電流遮断器(配線用遮断器、ヒューズ)の特性	
(2)工事用材料・工具の基礎	・絶縁電線の種類と記号	・絶縁電線(単線)の許容電流
	・電線の許容電流と電流減少係数	・金属管、合成樹脂管の種類
	・工事材料の用途(リングレギュラ、カップリング等)	
	・各種工具の用途(リーマ、ベンダ、ホルソ、ノックアウトパンチ等)	
5. 電気工事の施工方法		2日目の要点を参照

【2日目】		平成28年4月17日(日)
講義項目		学習の要点
5. 電気工事の施工方法(続き)		
(1)施設場所と配線方法の基礎	・低圧屋内配線の施設場所による施工可能な各種配線工事方法	
(2)工事施工上の重要な制限	・電線の接続方法、配線に用いる電線、電線の太さ等	
	・電線管相互、管とボックスとの接続方法	
(3)施設場所による工事の制限	・各種工事方法による支持点間隔、メタルラス壁の貫通工事方法等	
(4)特殊な場所の施工	・地中電線路の直接埋設方式の施設方法、小勢力回路の施設方法等	
(5)接地工事の種類と施工方法	・各種接地工事の種類と金属管、ダクト類、電気機械器具等の接地工事規定	
(6)接地工事が省略できる条件	・屋内配線工事の接地工事の省略等	
6. 一般用電気工作物の検査方法		
(1)電気工作物の検査方法と測定器	・低圧屋内配線工事の竣工検査項目と内容	
	・各種測定器の種類とその記号	
	・電圧計、電流計および電力計の正しい結線方法	
(2)絶縁抵抗と接地抵抗の測定方法	・低圧電路の絶縁抵抗の測定方法等	
7. 一般用工作物の保安に関する法令		
(1)電気事業法・電気工事業法	・電圧の区分	・電気工作物の区分、一般用電気工作物の定義
	・登録電気工事業者の義務	
(2)電気工事士法	・電気工事士の義務と作業範囲等	
(3)電気用品安全法	・法の目的、特定電気用品への表示等	
8. 鑑別		
	・電気機器、材料、工具、測定器の名称	
	・電気機器、材料、工具、測定器の用途と使用目的	
9. 配線図		
(1)図記号のポイント	・構内電気設備の配線用図記号(JIS C 0303)	
(2)関係法規と電線条数の求め方	・配線図問題によく出題される条文等	
(3)材料等選別の求め方	・材料等選別の基本図記号とその写真等	